

図画工作科 学習指導案

平成 年 月 日 () 第 校時 (図工室) 5年 組 指導者

I 題材 かたち クムクム

II 考察

1 教材観

(1) 育成を目指す資質・能力の三つの柱

③学びに向かう力・人間性等

板材の形や板材を組み合わせて立体に表すことを楽しみ、形や色、バランスなどを感じながら、自分の思いや考えを深める態度

①知識及び技能

電動糸鋸に慣れるとともに、板材の形を生かした組合せ方や、色の塗り方を工夫する力

②思考力・判断力・表現力等

板材の形や組み合わせた形から表したいことを見付け、構成の美しさなどを感じ取り、表し方について考える力

(2) 学習内容：学習指導要領上の位置付け

A表現

(1) 表現の活動を通して、発想や構想に関する次の事項を身に付けることができるよう指導する。

イ 絵や立体、工作に表す活動を通して、感じたこと、想像したこと、見たこと、伝え合いたいことから、表したいことを見付けることや形や色、材料の特徴、構成の美しさなどの感じ、用途などを考えながら、どのように主題を表すかについて考えること。

(2) 表現の活動を通して、技能に関する次の事項を身に付けることができるよう指導する。

イ 絵や立体、工作に表す活動を通して、表現方法に応じて材料や用具を活用するとともに、前学年までの材料や用具等についての経験や技能を総合的に生かしたり、表現に適した方法などを組み合わせたりするなどして、表したいことに合わせて表し方を工夫して表すこと。

(3) 本題材の学習とその価値

本題材は、ベニヤ板を電動糸鋸で切り出してできる様々な形の板材を組み合わせて立体に表す学習である。その価値は以下のとおりである。

子どもたちは、板材を選んだり、組み合わせたりすることを試しながら、繰り返し形を見直し、形や色、材料の特徴、構成の美しさなどを感じ取り、部分と全体のイメージから得た自分なりの思いに合わせて主題の表し方を考えることができる。

また、平面である板材を立体になるように組み合わせたり、面のつながりを意識して着色したりしながら、自分なりの思いに合わせて、板材の組合せ方や着色の方法を工夫して表すことができる。

さらに、自分なりの見方や感じ方で、形や色、構成の意図や工夫を認め合うことで、立体に表す喜びを味わいながら、自分の思いや考えを深める態度を養うことができる。

本題材で扱う教材の価値は、以下のとおりである。

本題材では、既習題材の「板を切り抜いて」で余ったベニヤ板の端材を教材とした。ベニヤ板の端材は、その形や大きさが不揃いであり、偶然できた形を見直して再構成しながらイメージを膨らませることができる。また、シナベニヤの板は、電動糸鋸でも加工し易く、水彩絵具で色も塗り易い。更に、木目を生かして、素材の色を生かすこともできるため、自分なりの思いに合わせて、表現方法を選択することができる。

そして、板材に切り込みを入れて組み合わせることで、容易に接合することができる。これにより、面が直交することで角度によって見え方が変わることや、板材を組み合わせると平面が立体として立ち上がっていく過程を実感することで、組合せ方を試行錯誤しながら、自分の思いを立体に表す楽しさを味わうことができる。

(4) 今後の学習

ここでの学習は、6年「一瞬の形」において、液体粘土で固めた布の形を見立てたり、形を生かしたりしながら、イメージを膨らませて立体に表す学習へと発展していく。

(5) 共通事項との関連 ※指導と評価の計画参照

2 児童の実態及び指導方針

子どもたちは、5年「だれも知らない世界への旅」において、モダンテクニックの生かし方や画面構成を工夫して、不思議な世界を旅している様子を絵に表す学習をしてきた。この学習の中で明らかになった子どもたちの実態及び本題材を進めるにあたっての指導方針は、次のとおりである。

- ① モダンテクニックによる表現を生かして、自分の思いに合わせて表現を工夫することができた。
このような子どもたちが、板材の形を生かして組合せ方を試しながら、自分や友達の表現の工夫に気付き、自分の思いに合わせてさらに表現を工夫することができるよう、板材を教室の中央に配置し選ぶ際に自然に友達と板材の形や作品について話すことができる場を設定する。
- ② モダンテクニックによる表現の違いや、写真を使った発想の楽しさや表し方の工夫に気付き、表現技法や写真を効果的に活用した画面構成を考えて、誰も知らない世界を想像し自分なりの思いを膨らませることができた。このような子どもたちが、板材の形や組み合わせた形の美しさから、自分なりの思いを膨らませることができるよう、板材をマットの上に広げて、友達と交流しながら板材を選び、組み合わせる試しの活動を設定する。
- ③ モダンテクニックの表現や偶然の効果を生かして、空想の世界を表す楽しさを味わうことができた。このような子どもたちが、自分らしい見方や感じ方に気付き、感じたことを基に自分の思いを形や色で表す楽しさに気付くことができるよう、製作の様子を電子黒板で映しながら、製作の意図を交流する振り返りの活動を設定する。

Ⅲ 目標及び評価規準

Ⅳ 指導計画 ※Ⅲ・Ⅳについては、指導と評価の計画参照

Ⅴ 本時の学習

- 1 ねらい 作品を友達と様々な視点で見合いながら、板材を組み合わせでできた形や色、構成のよさや美しさについて話し合う。
- 2 準備 デジタルカメラ 電子黒板 学習プリント（キャプション用・振り返り用）

3 展 開

学習活動と子どもの意識	指導上の留意点
<p>1 本時の活動について知る。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・いよいよ完成させるのだな。最後にはどんな題名をつけようかな。 ・これまでにいろんなイメージが浮かんだな。やっぱり森のイメージを大切にしよう。 <p>2 自分のイメージに合わせて、板材を組み合わせたたり、色を塗ったりする。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・この先の部分をもっととがった感じにしたいな。イメージに近い形はどれかな。 ・森のイメージだから、いろいろな緑色が重なるように組み合わせたよ。もう少し、木がたくさんある感じにしたいな。 ・少し高さが足りないから、板の付け方を変えたよ。この角度から見ると、森が広がっていくように見えるからいい感じだな。 <p>3 自分や友達の作品を展示して鑑賞する。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・森のイメージが表せたよ。この角度から見ると一番広がって見えるから題名は「深い森」にしたよ。 ・友達は、板のギザギザの形を生かして、色を着けないで森をつくったのだな。うまく板を組み合わせて、森の爽やかな感じが伝わってきていいな。 ・友達にも「深い森」のイメージが伝わったよ。でも友達は、「ジャングルみたい。」と言ってたな。いろいろな感じ方があって面白いな。 <p>4 題材全体の活動を振り返る。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・最初は、海みたいな感じだったけど、どんどんイメージが変わったよ。変わったイメージに合わせて作り変えていくのは大変だけど面白かったな。 	<ul style="list-style-type: none"> ○本時の活動について見通しがもてるよう、参考作品に題名を付けて展示の仕方を演示する。 ○完成への見通しをもてるよう、学習プリントを見直して、今までのイメージの変容を確認するよう促す。 ○自分のイメージに合わせて、板材を付け足したり、付け替えたりすることができるよう、材料コーナーを設置し、見比べながら選ぶよう促す。 ○自分の思いやイメージを確かめながら表すことができるよう、板材の組合せや配色の意図について問いかける。 ○自分の思いやイメージに合わせて、作品を仕上げることができるよう、板材の組合せ方を調整したり、様々な角度から作品を見直したりしている子どもを賞賛する。 ○自分の感じた面白さや美しさを言葉で表すことができるよう、完成した作品に題名を付け、向きや角度を考えながら展示するよう促す。 ○自分や友達の作品の面白さや美しさに気付くことができるよう、距離や角度を変えて鑑賞するよう促す。 <div data-bbox="794 1429 1401 1684" style="border: 1px solid black; padding: 5px; margin: 10px 0;"> <p style="text-align: center;">— 評価項目 —</p> <p style="text-align: center;">互いの作品を見て、表現の意図や作品のよさや美しさについて形や色、構成などの造形的な特徴を基に話したり、記述したりしている。 <発言・学習プリント></p> </div> <ul style="list-style-type: none"> ○自分らしい見方や感じ方に気付き、感じたことを基に自分の思いを形や色で表す楽しさに気付くことができるよう、製作の過程を電子黒板で映しながら、その時々意図について問いかける。

指導と評価の計画（全6時間）

目標	様々な板材の形を生かして、組み合わせたり、色を塗ったりして、つくりながら自分なりのイメージをもって立体に表す。			
評価 規準	① 知識・技能) 板材の形から感じたことや考えたことを基にした自分なりの思いに合わせて、板材の形を生かした組合せ方や、色の塗り方を工夫している。 ② 思考力・判断力・表現力等) 板材の形や組み合わせた形や構成のよさや美しさを感じながら、自分の表したいことを思い付いている。 ③ 学びに向かう力・人間性等) 板材の形や組合せてできた形、色の特徴などから感じたことを基に、自分なりの思いを形や色で立体に表す活動の楽しさを味わっている。			
過程	時間	学習活動	指導上の留意点	評価項目<評価方法>
であ う	2	○様々な形の板材から、気に入った板材を選び、切り込みの入れて、どのように組み合わせたら面白い形になるか考えながら組み合わせる。	○板材の形や組み合わせた形の美しさから、自分なりの思いを膨らませることができるよう、板材をマットの上に広げて、友達と交流しながら板材を3枚選び、組み合わせる試しの活動を設定する。	○板材を選びながら、感じたことや気付いたことを友達と話したり、切り込みの位置を確かめたりしながら、自分の思い付いた作品のイメージに合わせて組合せ方を試している。 <行動・発言・学習プリント>
ひろ げる ・あ らわ す	4	○板材の形や組み合わせた形からイメージしながら、自分なりの思いに合わせて、板材を組み合わせたり、色を塗ったりする。 ○自分や友達の作品を見合いながら、表現の意図や工夫について話し合う。 (本時4/4)	○板材の形を生かして組合せ方を試しながら、自分や友達の表現の工夫に気付き、自分の思いに合わせてさらに表現を工夫することができるよう、板材を教室の中央に配置し、選ぶ際に自然に友達と板材の形や作品について話すことができる場を設定する。 ○自分らしい見方や感じ方に気付き、感じたことを基に自分なりの思いを形や色で表す楽しさに気付くことができるよう、製作の様子を電子黒板で映しながら、製作の意図を交流する振り返りの活動を設定する。	○板材の組合せ方を変えたり、色を塗ったりしながら、自分のイメージの変化に合わせてつくり変えている。 <行動・発言・作品・学習プリント> ○自分や友達の作品を見て、表現の意図や、作品のよさや美しさについて形、色、構成などの造形的な特徴を基に話したり、記述したりしている。 <発言・作品・学習プリント>
共通事項	板材を選んだり、組み合わせたりしながら、形、色、構成などの造形的な特徴を理解し、自分なりのイメージをもつ。			

